

<平成16年度版>

社団法人 日本ツーバイフォー建築協会

環境行動計画

制 定：平成 16年 3月 25日

施 行：平成 16年 4月 1日

環境行動計画

はじめに

わが国におけるツーバイフォー工法による住宅は1974年に同工法がオープン化されて以来、今日までに120万戸を超える実績を有しています。この間、(社)日本ツーバイフォー建築協会では、わが国の建築分野における木構造技術の発展と住宅性能の向上に努力し、住宅業界をリードしてきました。

今後さらに木構造技術の発展を促すとともに、良好な地球環境を持続させるために、様々な環境問題に対する取り組みや研究を継続していくことが国際レベルの社会的要請となっています。こうしたなか、木材は再生可能な資源であり、木造住宅は他の材料を用いた住宅に比べて環境にやさしいという評価が高まっています。

ツーバイフォー工法は、省エネルギー性、耐震性、耐火性、耐久性などの基本性能に優れ、高い社会的評価を得ているだけでなく、環境面においても優れた工法といえます。ツーバイフォー工法の主要な構造部分に使われる枠組み材は、適切な森林資源管理を実施している北米産のものが中心になっています。こうした特性をさらに確かなものにするために、当協会はアメリカ、カナダなどツーバイフォー資材輸出国と国際協力し、グローバルな視点に立った森林保護問題に真剣に取り組んでいきたいと思っています。

ツーバイフォー工法における環境負荷低減への取り組みの一環として、当協会では2002年度に実施された木造建築物の分別解体・再資源化に関するアイデア提案コンペに資源循環型住宅「204+R SYSTEM」を提案、国土交通大臣賞を受賞しました。この資源循環型住宅については2003年度も当協会の主要事業のひとつとして取り組んでおり、ツーバイフォー工法に用いられる部品・部材のリユース・リサイクルなどを容易にするための新しい技術、構法システムの完成に向けて、さらなる努力を継続しています。

また、当協会では新築工事で発生する産業廃棄物の削減と排出抑制を図るために、種々の検討・研究を行っており、建物の長寿命化を促すために2002年に増改築事例集「ここまでできる！2×4リフォーム」を編集・発行するなど、適切なタイミングで適切なメンテナンスあるいはリフォームが行われることを促進する活動も推進中です。

以上、ツーバイフォー工法の環境面の特性と当協会の環境問題への取組状況について述べましたが、今後さらに当協会と会員各社が目標を共有化し、共通の目標に向かって一丸となった努力が必要と考え、この「環境行動計画」を取りまとめました。

環境負荷軽減へ向けての課題は多岐にわたっており、今後も状況の変化に即した対応が必要であり、当協会では最低年1回の「環境調査」を実施して、会員の取組状況を把握すると同時に、住宅業界を取り巻く状況などを踏まえて、具体的な「行動目標」並びに「行動計画」について必要な見直しを加えつつバージョンアップしていく考えです。

環境行動目標

- ① 当協会が取り組む「環境行動計画」は、本ページの「環境行動目標」と次ページ以下の「行動計画」で構成されている。
- ② 「環境行動目標」は、当協会と会員各社が一丸となって取り組む共通の目標として、下記の5項目を定めた。
- ③ 「行動計画」は、会員各社の置かれた地域事情や会社の実状などを踏まえて「環境行動目標」を達成できるよう、具体的な行動内容を「行動の選択肢」として提示した。
- ④ 会員各社は自社の実践目標として「行動の選択肢」の中から目標項目を選択する。

1. 省エネルギー化の推進

ツーバイフォー工法の特長である高い気密・断熱性能を活かし、さらなる性能向上を目指す。また、エネルギー効率の高い住宅設備機器、照明器具などの採用を推進して、電力、燃料などのエネルギー消費量を抑え、CO2排出量を削減する。

2. 室内空気質対策の徹底

改正建築基準法で提示されたシックハウス対策に積極的に取り組んでいく。また、規制内容など関連情報が掲載されている「建材便利帳」を活用する。

3. 産業廃棄物の排出量削減と適正処理の推進

- 1) 新築、リフォームにおいて発生する産業廃棄物の削減に努め、分別排出やリサイクルを促進する。
- 2) 資源循環型住宅「204+R SYSTEM」などの新技術を開発・導入し、普及させる。

4. 良好な地域環境、快適な住環境の形成と持続

- 1) 各地域自治体などのまちづくり施策に積極的に参加するとともに、地域環境に配慮した家づくりを推進する。
- 2) ユニバーサルデザイン、環境共生住宅など快適な住環境の形成に関する新しい技術や思想の普及・定着を図る。
- 3) 適切なメンテナンスおよびリフォームによる、建物の長寿命化を推進する。

5. 環境行動の活性化

- 1) 当協会は多様な会員（住宅供給、部資材・設備機器供給など）で構成されている特徴を活かし、会員相互の協調・協力で行動計画の推進・活性化につなげる。
- 2) 社団法人住宅生産団体連合会をはじめとする関連業界団体と連携した行動計画を推進する。
- 3) カナダ、アメリカなどのツーバイフォー資材輸出国とも協力し、グローバルな視点で環境負荷低減に取り組む。

行動計画

1. 省エネルギー化の推進

<行動目標>

ツーバイフォー工法の特長である高い気密・断熱性能を活かし、さらなる性能向上を目指す。また、エネルギー効率の高い住宅設備機器、照明器具などの採用を推進して、電力、燃料などのエネルギー消費量を抑え、CO2 排出量を削減する

行動計画

行動の選択肢

自社の目標として、下記の選択肢の中から実践目標項目を選択する。

- 1) 新規に供給するツーバイフォー住宅は「次世代省エネルギー基準」(性能表示制度に定める等級4相当)の構成比率を向上させる。
- ツーバイフォー住宅の特長である高い気密・断熱性能をユーザーにアピールする。
 - 「次世代省エネ基準」の意義をユーザーにアピールする。
 - 「次世代省エネ基準」をクリアしたツーバイフォー住宅を供給する。
-
- 2) エネルギー効率の高い住宅設備機器、照明器具を採用する。
- 積極的な情報収集をはかる。
 - 「省エネラベリング制度」をアピールする。
-
- 3) 太陽光発電および太陽熱高度利用システムの積極的な導入を図る。
- 補助および助成に関する情報を入手しユーザーに提供する
 - システム導入のための体制を整える。
 - システムの導入を図ったツーバイフォー住宅を供給する。

行動計画

2. 室内空気質対策の徹底

<行動目標>

改正建築基準法で提示されたシックハウス対策に積極的に取り組んでいく。また、規制内容など関連情報が掲載されている「建材便利帳」を活用する。

行動計画

行動の選択肢

自社の目標として、下記の選択肢の中から実践目標項目を選択する。

- 1) 改正建築基準法(シックハウス対策)の主旨を把握し、住宅室内の空気環境の保全に努める。
 - 社内および社外の関連業者も含めて、研修会などを行う。
 - 適切な設計、施工を徹底するとともに、新しい対策や技術を研鑽する。

- 2) 住宅性能表示制度に定める「空気環境」について最高等級相当の住宅を普及させる。
 - 常に新しい「空気環境」に関する情報を入手し研修会などを行う。
 - 「建材便利帳」を活用する。
 - 自社独自の仕様で性能の向上を図る。
 - 性能表示制度の定める高等級の空気質の選択をユーザーに薦める。
 - 性能表示制度の定める最高等級の空気質のツーバイフォー住宅を供給する。

行動計画

3. 産業廃棄物の適正処理の推進

<行動目標>

- 1) 新築、リフォームにおいて発生する産業廃棄物の削減に努め、分別排出やリサイクルを促進する。
- 2) 資源循環型住宅「204+R SYSTEM」などの新技術を開発・導入し、普及させる。

行動計画

行動の選択肢

自社の目標として、下記の選択肢の中から実践目標項目を選択する。

1) 現場に極力、産業廃棄物となる可能性のあるものを持ち込まない。

- 資材の発注にあたり適正な数量拾いを行う。
- 資材の簡易梱包を推進する。
- 部材のコンポーネント化やパネル化を積極的に導入する。
- 「204+R SYSTEM」などの取り組みをユーザーにアピールする。

2) 産業廃棄物の発生抑制とリサイクルに努める。

- 分別排出を徹底する。
- 産業廃棄物の発生状況を確認する。
- 資材の有効利用に努める。
- リサイクル状況を確認する。
- リサイクル率の向上に努める。

行動計画

4. 良好な地域環境、快適な住環境の形成と持続

<行動目標>

1. 各地域自治体などのまちづくり施策に積極的に参加するとともに、地域環境に配慮した家づくりを推進する。
2. ユニバーサルデザイン、環境共生住宅など快適な住環境の形成に関する新しい技術や思想の普及・定着を図る。
3. 適切なメンテナンスおよびリフォームによる、建物の長寿命化を推進する。

行動計画

行動の選択肢

自社の目標として、下記の選択肢の中から実践目標項目を選択する。

1) 地域のまちづくり施策への参加または導入を進める。

- 地域のまちづくりガイドラインなどの情報収集に努める。
- ガイドラインの導入を社内で検討する。
- 地域のまちづくり施策に積極的に参加する。

2) ツーバイフォー住宅の基本性能については、長寿命化を目指した耐久性の高いものとする。

- 自社独自の仕様で耐久性の向上を図る。
- 性能表示制度に定める高等級の劣化または維持管理対策の選択をユーザーに薦める。
- 性能表示制度に定める最高等級の劣化または維持管理対策を図ったツーバイフォー住宅を供給する。

3) さらなる居住環境の向上を目指し、高齢化対応、環境共生住宅、ユニバーサルデザインなどの技術を導入する。

- 社内で勉強会や技術研修を行う。
- プレゼン、現場見学会などでメリットをアピールする。
- 性能表示制度に定める高齢者や障害者に配慮したツーバイフォー住宅を供給する。
- 環境共生住宅の認定を取得する。

4) メンテナンス、リフォームを積極化させる。

- 適切なメンテナンス情報を提供する。
- 適切なリフォームをユーザーに薦める。

行動目標

5. 環境行動の活性化

<行動目標>

- 1) 当協会は多様な会員（住宅供給、部資材・設備機器供給など）で構成されている特徴を活かし、会員相互の協調・協力で行動計画の推進・活性化につなげる。
- 2) 社団法人住宅生産団体連合会をはじめとする関連業界団体と連携した行動計画を推進する。
- 3) カナダ、アメリカなどのツーバイフォー資材輸出国とも協力し、グローバルな視点で環境負荷低減に取り組む。

行動計画

行動の選択肢

自社の目標として、下記の選択肢の中から実践目標項目を選択する。

- 1) 会員相互が協調・協力して環境行動目標を推進する。
 - 他会員と環境行動に関する情報交換を積極化させる。
 - 他会員と連携した環境行動を計画する。
 - 他会員と連携した環境行動を実行する。

- 2) カナダ、アメリカなどのツーバイフォー資材輸出国と国際協力し、グローバルな視点で環境問題を追求していく。
 - ツーバイフォー資材輸出国の森林資源と環境対策などに関する情報入手に努める。
 - 輸出国あるいは輸出企業の環境配慮の状況を資材選択の要素に加える。